

タイの自動車産業

タイは自動車産業の部品や素材の調達なども含めた産業集積度が高い。1960年代以降、自動車産業を国の重点育成産業として、日系を中心に海外メーカーを誘致し発展してきた。97年の通貨危機時は、国内販売の不振により生産台数が激減したものの、各メーカーは国内向けから輸出向けへの転換を図り、翌年からは見事に回復・成長している。しかし、昨年は世界景気悪化の影響により11月から輸出が急激に落ち込み、09年の生産台数は大幅なマイナスが予想されている。

一方で中期的な視点では、06年に発表された「エコカープロジェクト」という投資奨励により回復すると期待されている。

【エコカープロジェクト】

■主な優遇

- ①法人所得税の8年間免除
- ②設備、機械の輸入関税免除
- ③エコカーをタイ国内で販売する場合、自動車特定消費税を17%に(通常2,000cc以下の普通乗用車は30%、乗用ピックアップ20%)

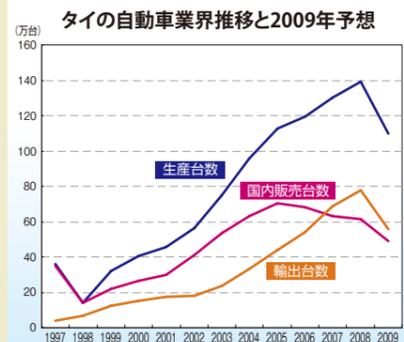
■主な条件

- ①投資額50億バート(約130億円)以上
- ②事業開始から5年目以降、年間10万台以上製造
- ③燃費1ℓ当たり20km以上
- ④欧州の自動車排気ガス規制「ユーロ4」の順守

日系大手メーカー6社はすでに事業承認を受けており、09年度中より順次、投資奨励によるエコカーを生産する予定だ。この投資奨励は当初、「5年後の年間10万台以上製造」という条件の高さから効果に疑問がもたれていたが、各メーカーが減産や効率化を迫られてきたため、逆にスモールカーの生産を産業集積度の高いタイへ集約する動機づけとなっているようだ。

タイ経済は政治混乱が重なり世界景気悪化の影響を大きく受けている。しかしその落ち込みが最も大きい自動車産業の回復をきっかけに、いち早く景気改善する可能性があると考えられる。

(しがぎんアジア月報4月号より タイ 河村)



同社の主力商品であるイオン水洗浄機「TIWS」



商談会への出展はネットワーク構築にたいへん役立つという



蘇州高橋のさらなる発展を担う北村総経理

中国では年々増加する水の需要の一方で、黄河の枯渇化等による水不足が深刻化している。この水不足は、安定的な経済成長

を妨げ、今後とも日本と中国の強みをお互いに利用し、活かしていきたい」と語る言葉には力強さを感じる。

中国では年々増加する水の需要の一方で、黄河の枯渇化等による水不足が深刻化している。この水不足は、安定的な経済成長

【会社概要】

高橋金属株式会社

- 所在地/滋賀県長浜市細江町864番地4
- 設立/1958年10月1日(創業:1940年)
- 資本金/98,325,000円
- 事業内容/金属塑性加工総合メーカー
- 代表者/代表取締役 高橋 政之
- URL/http://www.takahashi-k.co.jp

高橋金属制品(蘇州)有限公司

- 所在地/江蘇省蘇州市吳中經濟開發區東吳工業園東湖四路9号
- 設立/2005年11月
- 資本金/190,000,000円
- 事業内容/機械部品、イオン水洗浄システム製造
- 代表者/董事長 高橋 政之
總經理 北村 兼一
- URL/http://www.takahashi-m.com.cn

長を展望する中国における最大の課題とまでいわれられており、国家的なプロジェクト等の対策が練られているものの、企業の自助努力は不可欠だ。

蘇州高橋の洗浄機のニーズは高まるばかりであり、中国の環境に対する常識を変える可能性が大いにあるのではないだろうか。

洗浄システムは、メーカーの要望をもとにオーダーメイドで設計・製造していることも特長だ。各メーカーの製造品目や製造工程、予算等にあったシステムを設計製造、受注後は平均3カ月で納入できる。2008年には日本人設計者を常駐させ、製造部の体制を強化した。ローカル企業も類似品の製造は可能とのことである。

環境ビジネスは最大の広告塔

生産工場において排水が最も多く出るのが、製造過程における洗浄工程である。通常、部品表面の油脂分やゴミを取り除くためには多量の溶剤や洗剤を使用し、高橋金属製品(蘇州)有限公司(以下、蘇州高橋)が製造する洗浄機はその常識を変える。水だけで洗浄できるシステムだ。このシステムの最大の特長は、溶剤・洗剤を使用せず、水道水を電気分解して生成される電解アルカリ水だけで洗浄することにある。これにより、溶剤・洗剤の購入が不要となり、洗浄に使用した水も循環利用できることから、環境負荷の軽減に加え、ランニングコストの削減も実現できる。

工場の常識を変える 洗浄システム

だが、日本と同様の品質、サービスを提供する蘇州高橋にはかなわない。

また、「日本本社では取引のない大手メーカーから洗浄機のオーダーを受けることや、洗浄機の納入が部品加工の取引に発展することもある」と北村総経理は言い、蘇州高橋にとって環境ビジネスの宣伝効果は抜群だ。

拡大する中国事業と当行

02年の香港事務所開設以降、高橋金属の中国事業は順調に拡大を続け、04年に上海で販売会社を設立、05年には製造現場である蘇州高橋を設立した。上海現法設立の際には当行アジアデスクがフォローし、順調に二連の手続きを完了。08年には総量規制により金融環境が不安定な状況下、外資系銀行に当行が保証を差し入れし、蘇州高橋の運転資金調達に乗り組んだ。06年から他行と共催している「上海ビジネス商談会」にも毎回出席されるなど、当行が中国で提供できるサービスをご利用いただいている。

日本、中国の相互利用

05年の設立以来、順調に業績を伸ばしてきた蘇州高橋であるが、世界同時不況の影響は否めない。売上構成は洗浄機50%、部品加工50%となっているが、日本

中国の環境を変える ～滋賀県企業が発信する環境ビジネス～

text by 滋賀銀行 上海駐在員事務所 荻野 智史



業容拡大に伴い、07年度に新工場へ移転。増産への対応も万全だ

1940年創業の高橋金属株式会社(本社:長浜市)は金属塑性加工総合メーカーの老舗であると同時に、洗浄機のトップメーカーとして環境県である滋賀の企業を象徴する存在だ。環境面では遅れをとっていた中国であるが、2008年3月には国家環境保護総局を「環境保護省」に格上げし体制を強化。法整備も進み、環境基準の厳しさは高まりつつある。企業が環境への対策を求められるなか、中国において環境負荷を軽減する洗浄システムを製造・販売する高橋金属制品(蘇州)有限公司の北村兼一総経理にお話を伺った。